

2024 年度事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

I. 事業概況

1. 事業の概要

2024 年度に当財団が行った事業は以下のとおりでした。

○褒賞事業 船井学術賞/研究奨励賞、FIT(情報科学技術フォーラム)船井業績賞及び船井ベストペーパー賞の授与を行いました。

○日本人海外留学生奨学事業

日本人海外留学生 66 名に奨学金を支給しました。そして 2025 年度の日本人奨学生として、17 名 (Ph.D.コース 15 名・学部コース 2 名) を採択しました。

財務状況について

2025 年 3 月 31 日現在の財団が保有する資産は 114 億 21 百万円です。内訳は基本財産として米国国債及び上場投資信託 25 億 39 百万円、特定資産として投資有価証券 (外国国債、上場投資信託等) 86 億 5 百万円、及び奨学事業記念資金 2 億 15 百万円、流動資産として (現金・普通預金・外貨預金等) 61 百万円を保有しています。負債の総額は預り金等 124 万円となっています。

2024 年度の収入は当財団の保有する外国国債、上場投資信託等からの利金・分配金収入が 3 億 12 百万円ありました。事業活動等による支出の合計は 4 億 1 百万円で、収支差額は▲89 百万円となりました。2024 年度の計画では、収入は 2 億 88 百万円、支出は 3 億 82 百万円、収支差額は▲94 百万円でした。

収入が計画より 24 百万円増加、また支出が計画より 38 百万円増加しています。いずれの数値も大きく増加しているのは主に予算策定時に想定した為替レートが年間を通じて大きく円安方向に振れたことによるもので、収支差額の減少については一部学生の授業料免除や研究奨励金の支給を予定していた学生が想定より早期に PhD を取得したことなどによって、奨学金の支払い総額が減少したことなどが影響しています。

2. 褒賞事業

(1) 船井学術賞・船井研究奨励賞

2024 年 10 月に日本国内の大学院・大学の研究機関及び過去の受賞者に応募要項並びにパンフレットを送付し、関係する学会にも財団ホームページのリンクを依頼しました。また、10 月 1 日からホームページ上で WEB 応募の受付を開始し、2025 年 1 月 15 日に応募を締め切りました。

2025 年 2 月 17 日に褒賞事業選考委員会を開催し、船井学術賞 6 件 (内船井哲良特別賞 1 件) と船井研究奨励賞 12 件を選考し、理事長が決定しました。

(i)応募状況

船井学術賞 : 31 件 (43 件) ()内は前年度応募件数
船井研究奨励賞 : 52 件 (48 件)
合計 83 件 (91 件)

(ii)船井学術賞受賞者

受賞者 : 船井哲良特別賞 1 件 船井学術賞 5 件
褒賞金額 : 船井哲良特別賞 300 万円/件、船井学術賞 150 万円/件

2024年度船井学術賞

氏名	所属先/役職	対象業績
【船井哲良特別賞】		
速水 賢	北海道大学大学院理学研究院 物理学部門 准教授	トポロジカル遍歴磁性体の機構解明と機能性開拓
【船井学術賞】		(五十音順)
今泉允聡	東京大学大学院総合文化研究科 准教授	大自由度データ駆動系の数値開発とニューラルネットワーク解析
江崎貴裕	東京大学先端科学技術研究センター 特任講師	ネットワーク型物流システムの基礎理論の構築
金井 駿	東北大学電気通信研究所 准教授	スピンドYNAMIXの新概念素子応用に関する研究
金澤直也	東京大学生産技術研究所 准教授	実空間と運動量空間のトポロジーを融合した新奇量子相の創出とスピン機能開拓
関根智仁	山形大学大学院有機材料システム研究科 准教授	有機複合材料の精密機能化による高性能デジタルスキndeバイス技術の開拓
(所属先・役職は応募申請時のものです)		

(iv)船井研究奨励賞受賞者

受賞者 : 12 件
褒賞金額 : 50 万円

2024年度船井研究奨励賞		(五十音順)
氏名	所属先/役職	対象業績
安藤冬希	国立研究開発法人物質・材料研究機構 特別研究員	3次元人工多層構造制御に基づいた量子輸送・エネルギー変換機能の開拓
伊藤伸志	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授	オンライン学習問題に対するアルゴリズム設計とリグレット解析
岡谷泰佑	東北大学大学院工学研究科 助教	次世代ロボット要素技術としてのメタオプティクスの開発
清川拓哉	大阪大学大学院基礎工学研究科 助教	設計情報のみからの知能ロボットによる作業計画に関する研究

氏名	所属先／役職	対象業績
斎藤菜美子	早稲田大学次世代ロボット研究機構 客員次席研究員	ロボットの動作生成のためのマルチモーダル深層学習モデル構築と料理タスクへの応用
菅原 朔	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系 助教	自然言語理解システムの説明性の高い評価基盤の構築
土田 光	埼玉工業大学工学部 情報システム学科 講師	マルチパーティ計算の理論と実装
土肥昂亮	東北大学電気通信研究所 助教	反強磁性スキルミオニクスの開拓
平井孝昌	国立研究開発法人物質・材料研究機構 研究員	幾何学デザインに基づく構造エンジニアリングによる高性能熱変換・生成機能の創出
藤代有絵子	理化学研究所創発物性科学研究センター／ 開拓研究本部 ユニットリーダー	ナノスケール磁気構造におけるトポロジー制御と新奇電子物性の開拓
前田拓也	東京大学大学院工学系研究科 講師	次世代パワーデバイスに向けた窒化物ワイドギャップ半導体の高電界物性の解明
村松久圭	広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授	周期／非周期分離に基づく制御と診断

(所属先・役職は応募申請時のものです)

(2) FIT（情報科学技術フォーラム）船井業績賞、船井ベストペーパー賞

FIT・選考委員会の推薦を受け、2024年9月5日に広島工業大学にてハイブリッド開催された情報科学技術フォーラムにて船井業績賞(FIT2024)、船井ベストペーパー賞(FIT2023)を授与しました。なお、船井ベストペーパー賞は選考時期の関係により、表彰は当年ではなく翌年に行われます。

2025年2月17日開催の選考委員会において、情報処理学会からの推薦をもとに船井業績賞(FIT2025)の選考を行い、対象者を決定しました。

(i) 船井業績賞受賞者(FIT2024)

受賞者 : 1 件

褒賞金額 : 100 万円

氏名	所属先	対象業績
Ling Liu	米国ジョージア工科大学 教授	データのプライバシー保護における先駆的・世界的研究業績

(ii) 船井ベストペーパー賞受賞者(FIT2023)

受賞者 : 2 件

褒賞金額 : 20 万円/件

氏名(所属)	対象業績
西村 仁志・加藤 晴久・河村 圭（株式会社 KDDI 総合研究所）	動的メッシュ圧縮における変位量の量子化タイミングに関する検討

長久保 伊吹・堀川 三好・岡本 東（岩手県立大学）・堀川 真伸（阪神高速先進技術研究所）・松浦 弘治（阪神高速道路）	濃煙トンネル空間における避難誘導を目的としたモバイル端末台数推定手法の提案
--	---------------------------------------

(3)褒賞式/贈呈式行事の開催

船井学術賞・船井研究奨励賞受賞者及び Funai Overseas Scholarship 授与者に対する褒賞式/贈呈式を開催しました。

日時：2024 年 5 月 18 日（土）11：30～15：00

場所：京王プラザホテル

出席者：57 名

3. 日本人海外留学生奨学事業

(1) 2024 年度における奨学事業支援内容

【大学院留学】

① 支給期間：原則、英国は 3 年間、米国及びその他の国は 2 年間。

但し、その他の国において、英国と同様に大学からの給与や奨学金等を得ることが難しい場合は 3 年間

② 支援内容：授業料全額（医療保険等を含む）、生活費\$3,000/月、往復航空運賃（実費）、支度金 50 万円（支給対象：日本在住者）

③ その他：

- ・研究奨励金：支給期間終了後 3 年目以降、Ph.D.取得迄の間、上限\$3,000/年を支給
- ・ポスドク支援金：

Ph.D.取得後、海外大学のポスドクコースに入った者に、勤務月数に応じて、\$1,000/月を最長 3 年間支給

【学部留学】

支給期間は原則 4 年。\$ 30,000/年を支給。

(2) 2024 年度における奨学金支給者

海外留学生 66 名対し、総額 3 億 7 百万円を支給しました。

年度	氏名	年齢	所属先／留学先	区分
(ポスドク)				
2015	久門智祐	33	Massachusetts Institute of Technology	ポスドク支援金
2016	荏田裕也	31	Max-Planck-Institute	ポスドク支援金
2016	谷川洋介	31	Massachusetts Institute of Technology	ポスドク支援金
2016	鄭 麗嘉	31	Stanford University	ポスドク支援金
2017	小松夏実	30	University of California, Los Angeles	ポスドク支援金
2017	塚本紘康	30	NASA Jet Propulsion Laboratory	ポスドク支援金

2017	馬淵祐太	31	Columbia University	ポスドク支援金
2018	大岸誠人	33	Stanford University	ポスドク支援金
2020	兼田真周	31	McGill University	ポスドク支援金
(大学院留学)				
2017	村上 愛	33	Northwestern University	研究奨励金支援
2018	山口光史郎	30	University of Washington	研究奨励金支援
2018	和田健司	31	New York University	研究奨励金支援
2019	大西基也	31	University of Washington	研究奨励金支援
2019	黒岩広大	28	Hasso Plattner Institute	奨学金支援
2019	ファム タン ロン	28	Carnegie Mellon University	研究奨励金支援
2019	安永迪弘	28	Stanford University	研究奨励金支援
2020	勝山湧斗	28	University of California, Los Angeles	研究奨励金支援
2020	古賀 樹	27	University of California, San Diego	研究奨励金支援
2020	穴倉真理	27	McGill University	研究奨励金支援
2020	五十嵐祐花	28	Massachusetts Institute of Technology	研究奨励金支援
2020	高柳早希	30	Johns Hopkins University	研究奨励金支援
2020	立石泰佳	30	University of Maryland	研究奨励金支援
2020	西尾祐哉	27	Stanford University	研究奨励金支援
2020	若原征哉	28	University of Minnesota, Twin Cities	研究奨励金支援
2021	荒川 陸	28	Carnegie Mellon University	研究奨励金支援
2021	磯部知弥	33	University of Cambridge	研究奨励金支援
2021	織井理咲	26	University of Washington	研究奨励金支援
2021	黒岩麟平	27	Johns Hopkins University	研究奨励金支援
2021	河野遥希	27	Massachusetts Institute of Technology	研究奨励金支援
2021	齋藤優太	26	Cornell University	研究奨励金支援
2021	妹尾 歩	26	University of Colorado at Boulder	研究奨励金支援
2021	花田美月	26	University of California, Berkeley	研究奨励金支援
2022	伊藤絵美	28	University of California, Berkeley	研究奨励金支援
2022	宇隨 佳	28	Massachusetts Institute of Technology	研究奨励金支援
2022	大西由吾	27	Massachusetts Institute of Technology	研究奨励金支援
2022	坂田莉奈	28	University of Cambridge	奨学金支援
2022	神宮亜良太	28	Saarland University	研究奨励金支援
2022	田中彬義	25	University of Virginia	研究奨励金支援
2022	長谷川公大	30	Carnegie Mellon University	研究奨励金支援
2022	平田 憲	25	University of Colorado Boulder	研究奨励金支援
2022	藤田 創	28	Stanford University	研究奨励金支援
2022	柳 伶旺	28	California Institute of Technology	奨学金支援

2023	青木俊樹	24	Massachusetts Institute of Technology	奨学金支援
2023	安齊 周	26	University of California, Los Angeles	奨学金支援
2023	安藤宏紀	27	University of Arizona	奨学金支援
2023	宇都隆宏	27	Eidgenössische Technische Hochschule Zürich	奨学金支援
2023	大島知子	29	Stanford University	奨学金支援
2023	金村真奈美	25	Carnegie Mellon University	奨学金支援
2023	河井理雄	28	Harvard University	奨学金支援
2023	清原明加	25	Cornell University	奨学金支援
2023	久壽米木啓悟	27	Cornell University	奨学金支援
2023	白川 亮	27	Massachusetts Institute of Technology	奨学金支援
2024	荒井智大	37	Katholieke Universiteit Leuven	奨学金支援
2024	大古一聡	25	University of California, Berkeley	奨学金支援
2024	川手里桜	24	California Institute of Technology	奨学金支援
2024	杉山優衣	25	Oregon Health & Science University	奨学金支援
2024	高橋秀明	24	Columbia University	奨学金支援
2024	中島悠翔	23	University of Minnesota Twin Cities	奨学金支援
2024	宮武茉莉	27	University of California, Berkeley	奨学金支援
2024	本橋悠人	24	Eidgenössische Technische Hochschule Zürich	奨学金支援
2024	安室美陽	25	Georgia Institute of Technology	奨学金支援
2024	渡邊優大	25	University of California, San Diego	奨学金支援
(学部留学)				
2021	明石晃一	23	University of St. Andrews	奨学金支援
2022	松尾理夏	21	University of California, San Diego	奨学金支援
2023	勝山翔紀	20	University of California, San Diego	奨学金支援

(3) 2025 年度の奨学事業支援内容

大学院留学の奨学金の支援内容を 2025 年度から変更します。なお、上記(1)の①支援期間と③その他（研究奨励金、ポスドク支援金）、そして学部留学支援の内容に変更はありません。

変更箇所は下線部分

<2025 年度奨学生>

授業料一部負担（上限 \$ 14,000 / 年）、医療保険費全額、生活費\$36,000/年

<2024 年度以前の奨学生>

授業料全額（医療保険等を含む）、生活費\$3,000/月、往復航空運賃(実費)、支度金 50 万円（支給対象：日本在住者）

(4) 2025 年度奨学生として採択された者

学部留学、大学院留学ともに 2024 年 6 月 1 日～2024 年 9 月 30 日の間募集し、2024 年 10 月 19 日に書類選考（一次）、10 月 27 日に面接選考(二次)をおこないました。

[学部留学]

今回は 30 名の応募者があり、書類選考（一次）で 6 名を選考、面接選考(二次)を行いました。その選考委員会での選考結果に基づき、理事長が奨学金支給候補者 2 名を決定しました。

氏名	年齢	出身校	留学先大学(予定含む)
石原裕己	18	愛知県立旭丘高等学校	Informatics (BSI) major in the School of Information, the University of Texas at Austin
黒瀬陽音	18	広島県立広島叡智学園高等学校	College of Arts and Sciences at the University of Pennsylvania

[大学院留学]

今回は 134 名の応募者があり、書類選考（一次）で 23 名を選考、面接選考(二次)を行いました。その選考委員会での選考結果に基づき、理事長が奨学金支給候補者 15 名を決定しましたが、そのうち 1 名は JASSO の海外留学支援制度特別枠の合格を得られなかったため辞退、1 名は希望留学先大学の合格が得られなかったため、奨学金支給候補者は 13 名です。

氏 名	年 齢	出身大学	留学先大学
伊藤聡志	25	早稲田大学大学院創造理工学研究科地球・環境資源理工学専攻	Department of Geophysics, Stanford University
伊東理紗	22	慶應義塾大学理工学部機械工学科	Department of Aerospace Engineering Sciences, University of Colorado Boulder
金澤貴弘	22	東京大学理学部物理学科	Department of Physics, The University of Chicago
岸田翔輝	22	京都大学工学部物理工学科材料科学コース	PhD program in Applied Physics, Harvard John A. Paulson School of Engineering and Applied Sciences
木下裕太	24	東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻	PhD program in Computer Science, Toyota Technological Institute at Chicago

栗原有理	24	慶應義塾大学大学院理工学研究科 総合デザイン工学専攻	Department of Materials Science and Engineering, University of Pennsylvania
島 堯杜	22	九州大学理学部生物学科	International Max Planck Research School of Marine Microbiology
鈴木理沙	24	早稲田大学理工学術院基幹理工学 研究科情報理工・情報通信専攻	Doctoral Program in Computer and Communication Sciences, École Polytechnique Fédérale de Lausanne
成田美菜 子	24	東京大学大学院工学系研究科化学 生命工学専攻	Doctoral Program in Biotechnology & Bioengineering, École Polytechnique Fédérale de Lausanne
根岸優大	24	東京大学大学院情報理工学系研究 科コンピュータ科学専攻	Department of Materials, Faculty of Engineering, Imperial College London
野中玲央	24	東京大学大学院経済学研究科経済 専攻	Department of Economics, Yale Graduate School of Arts and Sciences
幅 凧裕	23	東北大学工学部化学バイオ工学科	Department of Chemistry and Biochemistry, University of California, Los Angeles
横山貴一	24	慶應義塾大学医学部	PhD program in Neuroscience, Johns Hopkins University School of Medicine

なお、奨学事業における外国人留学生を支援する事業については、本年度も休止を継続しております。

II. 庶務事項

1. 理事会

(1)第 65 回理事会

2024 年 5 月 18 日開催（京王プラザホテル）

決議事項

- 第 1 号議案 2023 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 2023 年度収支決算承認の件
- 第 3 号議案 選考委員会規程一部修正の件
- 第 4 号議案 寄附金取扱規程新設の件
- 第 5 号議案 事務局長承認の件
- 第 6 号議案 評議員会招集の件

以上第 1 号議案から第 6 号議案まで承認可決されました。

報告事項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

(2)第 66 回理事会（決議省略の方法による）

決議があったものとみなされた日 2024 年 6 月 17 日

決議事項

- 第 1 号議案 業務執行理事の選定の件

以上第 1 号議案は承認可決されました。

(3)第 67 回理事会

2025 年 3 月 8 日開催（ANA インターコンチネンタルホテル東京）

- 第 1 号議案 2025 年度事業計画承認の件
- 第 2 号議案 2025 年度正味財産増減予算書承認の件
- 第 3 号議案 会計処理規程の改定の件
- 第 4 号議案 育児・介護休業等に関する規則の改定の件
- 第 5 号議案 褒賞事業選考委員選出の件
- 第 6 号議案 奨学事業選考委員選出の件

以上第 1 号議案から第 6 号議案は承認可決されました。

報告事項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

2. 評議員会

第 46 回評議員会

2024 年 6 月 7 日開催（於：ANA インターコンチネンタルホテル東京）

決議事項

- 第 1 号議案 2023 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 2023 年度収支決算承認の件
- 第 3 号議案 理事 1 名補欠選任の件
- 第 4 号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程一部改定の件
- 第 5 号議案 常勤理事 1 名報酬額の件
- 第 6 号議案 定款一部変更の件

以上第 1 号議案から第 6 号議案まで承認可決されました。

3. 選考委員会

(1) 日本人海外留学生選考委員会<書類選考>

2024 年 10 月 19 日に Zoom を利用してオンライン書類選考(一次)を行いました。

学部留学では 30 名の応募者から面接候補者として 6 名を選考し、大学院留学では 134 名の応募者から面接候補者として 23 名を選考しました。

(2) 日本人海外留学生選考委員会<面接選考>

2024 年 10 月 27 日に船井ビル会議室において面接選考(二次)を行いました。学部留学 6 名、大学院留学 23 名の中から奨学金支給候補者として学部留学 2 名、大学院留学 15 名を選考しました。

(3) 褒賞選考委員会

2025 年 2 月 17 日に ANA インターコンチネンタルホテル東京において選考委員会を開催し、2024 年度船井学術賞 6 名（船井哲良特別賞 1 名含む）と船井研究奨励賞 12 名、FIT 船井業績賞 1 名の選考を行いました。

4. その他

財団の広報活動の一環として、米国大学院学生会が日本の主要大学で開催する留学説明会に要する費用の一部（189.5 万円）を支援しました。

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しません。

令和 7 年 5 月
公益財団法人船井情報科学振興財団